

「計算と論理」

Software Foundations

その2

五十嵐 淳

cal16@fos.kuis.kyoto-u.ac.jp

京都大学

October 11, 2016

別ファイルの定義・定理の読み込み

Require Export Basics.

- Basics.v を「コンパイル」した Basics.vo が必要.
- 参考情報: Induction.v 冒頭
- テキストのディレクトリで make してもよい(はず)

Induction.v

- 数学的帰納法による証明(induction タクティック)
- 証明中の証明(assert タクティック)

Induction.v

- 数学的帰納法による証明(induction タクティック)
- 証明中の証明(assert タクティック)

帰納法による証明

定理: 0 は足し算の右単位元

```
Theorem plus_0_r : forall n:nat,  
  n + 0 = n.
```

詰まる証明

Proof.

```
intros n. reflexivity. (* エラー! *)
```

何が起こっているのか？

Proof.

```
intros n. simpl. (* 左辺は計算できない *)
```

「こういう時は場合分けでしょ？」

またもや詰まる証明

Proof.

```
intros n. destruct n as [| n'].
- (* n = 0 *)
  reflexivity. (* so far so good... *)
- (* n = S n' *)
  
```

- 場合分けをいくら続けてもキリがない!
- n より 1 小さい n' について `plus_0_r` が成り立つ
いれば…

「こういう時は場合分けでしょ？」

またもや詰まる証明

Proof.

```
intros n. destruct n as [| n'].
- (* n = 0 *)
  reflexivity. (* so far so good... *)
- (* n = S n' *)
  simpl. (* また同じようなゴールが… orz *)
```

- 場合分けをいくら続けてもキリがない!
- n より 1 小さい n' について `plus_0_r` が成り立つ
いれば…

「こういう時は場合分けでしょ？」

またもや詰まる証明

Proof.

```
intros n. destruct n as [| n'].
- (* n = 0 *)
  reflexivity. (* so far so good... *)
- (* n = S n' *)
  simpl. (* また同じようなゴールが… orz *)
```

- 場合分けをいくら続けてもキリがない!
- n より 1 小さい n' について `plus_0_r` が成り立つ
いれば… ⇒ 数学的帰納法

数学的帰納法

$P(n)$ を自然数 n の性質について述べた命題とする

数学的帰納法の原理

「任意の自然数 n について $P(n)$ 」は以下と同値

- $P(0)$ かつ
- 任意の自然数 n' について、 $P(n')$ ならば $P(S n')$

単なる場合分けと違って、 $P(S n')$ を示すのに、ひとつ小さい数では P が成立していること（つまり $P(n')$ ）を仮定してよい

- $P(n')$ を「帰納法の仮定」(induction hypothesis, IH) と呼ぶ

数学的帰納法の妥当性

個々の具体的な数(例えば 4)について P が成立することが、

- $P(0)$ かつ
- 任意の自然数 n' について、 $P(n')$ ならば $P(S n')$ を組み合わせて導き出せる

数学的帰納法を使った証明

Theorem plus_0_r : forall n:nat, n + 0 = n.

Proof.

```
intros n. induction n as [| n'].
- (* n = 0 *)
  reflexivity.
- (* n = S n' *)
  simpl. rewrite -> IHn'. reflexivity. Qed.
```

基本的な使い方は `destruct` と同じ

- `intro` パターン
- `IHn'` が帰納法の仮定 (Coq が勝手に名前をつける)

日本語で書くなら…

定理: 任意の自然数 n について $n + 0 = n$.

n についての数学的帰納法による.

- $n = 0$ の場合, 示すべきは $0 + 0 = 0$ だが, これは + の定義により自明.
- $n = S(n')$ の場合, 示すべきは $S(n') + 0 = S(n')$ であるが,

$$\begin{aligned}\text{左辺} &= S(n' + 0) \quad + \text{の定義による} \\ &= S(n') \quad \text{帰納法の仮定による} \\ &= \text{右辺}\end{aligned}$$

なので証明終.

数学的帰納法を使った証明(2)

```
Theorem minus_diag : forall n,  
  minus n n = 0.
```

今日のメニュー

Induction.v

- 数学的帰納法による証明 (induction タクティック)
- 証明中の証明 (assert タクティック)

証明中の証明

- 以前に証明した定理は他の定理の証明中で使える
- 証明中でも「サブ定理」(補題)を宣言・証明できる
⇒ assert タクティック

assert を使った(人工的な)例

```
Theorem mult_0_plus' : forall n m : nat,  
  (0 + n) * m = n * m.
```

Proof.

```
intros n m.  
assert (H: 0 + n = n). reflexivity.  
rewrite -> H.  
reflexivity. Qed.
```

assert を使った(人工的な)例

```
Theorem mult_0_plus' : forall n m : nat,  
  (0 + n) * m = n * m.
```

Proof.

```
intros n m.  
assert (H: 0 + n = n). reflexivity.  
rewrite -> H.  
reflexivity. Qed.
```

- assert $(0 + n = n)$ as H と書いててもよい

assert の挙動

- 新たなサブゴールとして assert された命題が追加される
- 前のゴールの文脈には assert された命題が仮定として追加されている

assert の応用

そこじゃない！

```
Theorem plus_rearrange_firsttry :  
  forall n m p q : nat,  
    (n + m) + (p + q) = (m + n) + (p + q).
```

Proof.

```
intros n m p q.
```

(* n と m を入れ替えればいいんでしょ？ *)

```
rewrite -> plus_comm.
```

(* ゴールが…思ってたのと違う！ *)

assert の応用

Theorem plus_rearrange : forall n m p q : nat,
$$(n + m) + (p + q) = (m + n) + (p + q).$$

Proof.

```
intros n m p q.
```

```
assert (H: n + m = m + n).
```

(* この文脈での n と m の交換に特化 *)

```
rewrite -> plus_comm. reflexivity.
```

```
rewrite -> H. reflexivity. Qed.
```

こうしなきゃいけないのはどうかと思うが…

- 一応、他の手段はありますが講義ではカバーしません

宿題 : / 午前 10:30 締切

- `Induction.v` の `basic_induction` (2),
`double_plus` (2), `beq_nat_refl` (2)
- `Induction.v` までのその他の問題は随意課題
- 講義・演習に関する質問, わかりにくいと感じたこと, その他気になること, を自由にコメント欄へ.
(「特になし」はダメです。)
 - ▶ 友達に教えてもらったら、その人の名前を明記
- 解答を書き込んだ `Basics.v`, `Induction.v` 両方を含む zip ファイルをオンライン提出システムを通じて提出